

事務事業名		地場産業等振興事業			会計	一般会計					
事業種別		政策			開始	1	終了				
課等名	工業課	係等名	工業振興係								
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり								
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化								
目的	対象(誰・何を)	伝統産業や先端産業などの地域内企業、起業を目指す者				対象指標	指標名及び単位		24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	地域産品の普及拡大と販路開拓技術・経営力の向上					地域内事業所数(飯伊)		535		
	向上させたい上位施策の成果指標	既存事業者の出荷額(工業)飯田下伊那(億円)					地域内企業従業員数(飯伊)		15900		
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	副指標	支援機関利用件数(飯伊)			700	932	700	700			
	成果指標	アドバイザー訪問企業数			200	230	200	200			
	定性目標										
事業概要	<p>地域経済の活性化を図るために、南信州・飯田産業センターのもつ施設、人材を活用し、既存企業の経営革新・技術革新を図るための人材育成や新事業展開及び新規創業支援を展開する。</p> <p>産業センター運営負担金 飯田市80%：町村20% (S58年7月関係者協議、以後合併した町村分を飯田市へ加算)</p> <p>工業技術センター運営負担金 飯田市70%：町村27%：業界3% (建設時協議、H11年以降一部業界負担)</p> <p>EMCセンター運営負担金 飯田市69%：利用町村31% (H12建設時協議、利用状況から負担額算出)</p> <p>市負担43,200千円(派遣職員人件費23,076千円、建設改良費5,346千円含む)、町村負担4,741千円</p>										
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標			
	1 南信州・飯田産業センター管理運営業務				1 (1)貸館利用件数			1 (1)973件			
	2 工業技術センター管理運営、各種検査、技術指導・相談業務				(2)利用者延数			(2)47,511人			
	3 EMCセンター管理運営、各種試験、技術指導・相談業務				2 (1)工技C利用件数			2 (1)1,768件			
4 需要開拓、新商品・技術開発、人材育成、ネットワーク促進、新産業創出支援業務				(2)企業延数(内飯伊分)			(2)779社(653社)				
				3 (1)EMC利用件数			3 (1)153件				
				(2)企業延数(内飯伊分)			(2)153社(62社)				
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		52,742	43,200	43,200	43,200						
国庫支出金											
県支出金		9,542									
起債											
その他											
一般財源		43,200	43,200	43,200	43,200						
人件費計(千円)②		0		3,576							
正規職員所要時間				1,000							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		52,742	43,200	46,776	43,200						
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>施設利用については、利用者、件数とも増加しており企業活動が回復の方向にあることが窺える。一方で工業技術センター及びEMCセンターでは利用件数等が減少している。景気低迷の影響を受けている事が推察される。アドバイザーの活動については計画を上回っているため事業の成果として評価できる。</p>										
改革改善の考え方	①問題点	公益財団法人への移行に伴い、公益法人としての認識を関係者や職員に徹底した上で事業に取り組んでもらいたい。(第5次基本構想基本計画推進委員会)									
	②改革提案	中核支援機関として、飯田下伊那地域における地域内産業の健全な発展を図るため、次世代産業を中心に企業の自立的で創造的な事業活動を支援していきたい。									